

『主人公が原油』の推理ドラマ

日本は「したたかに」金融力も！

2016.2

HYS

豊かな日本を築く為に

- 日本は資源を輸入しそれから高付加製品を製造輸出する
⇒ 海外での現地生産・販売が増大
- 優れた技術革新(イノベーション)
- マーケティング力、デザイン力
- 安定した政治：特に税制改革
- 外交戦略(近隣諸国から尊敬される国になりたい。切磋琢磨の友好関係：留学生交流 taigongwang.net)
- 賢明な中央銀行(物価、為替)
- 個別企業並びに国家としての信頼力・ブランド力
- 為替、国内・現地生産比率を含め貿易立国・日本としてのしたたかなかんたんの対応力(金融力) トヨタ 400億円/1円

主な登場人物(国、組織)

- OPEC(石油輸出国機構) 諸国
特にサウジアラビア、イラン —— 宗教対立
- アメリカ：大消費国、シェールオイル
- 中国：経済の減速
- ロシア：輸出金額の55%が石油関連、ウクライナ
- その他の非OPEC国と資源国(多くは発展途上国)
- シリア内戦：上記登場人物の大半
- (欧米石油メジャー：OPECが主導権を握るまでは、世界の石油全てを支配：影に隠れて)

エネルギー資源に関する日本の経験

- 石油を求めて南方進出： 大太平洋戦争の一因
- オイルショック： 1973年（第1次）と1979年（第2次）
きっかけは第四次中東戦争が勃発し、OPEC国
の一部が原油を3ドルから5ドルに引き上げ
- 東日本大震災後原発停止が起きた時、特使を
派遣 ⇒ 割高なガスの長期購入契約締結
- シェールオイル・ガスの投資に誘われ喜んで出
資したが、予想が裏目に出で大きな損失。（伊藤
忠商事、住友商事、三井物産他 2014～15年）
- （香港での自身の経験）

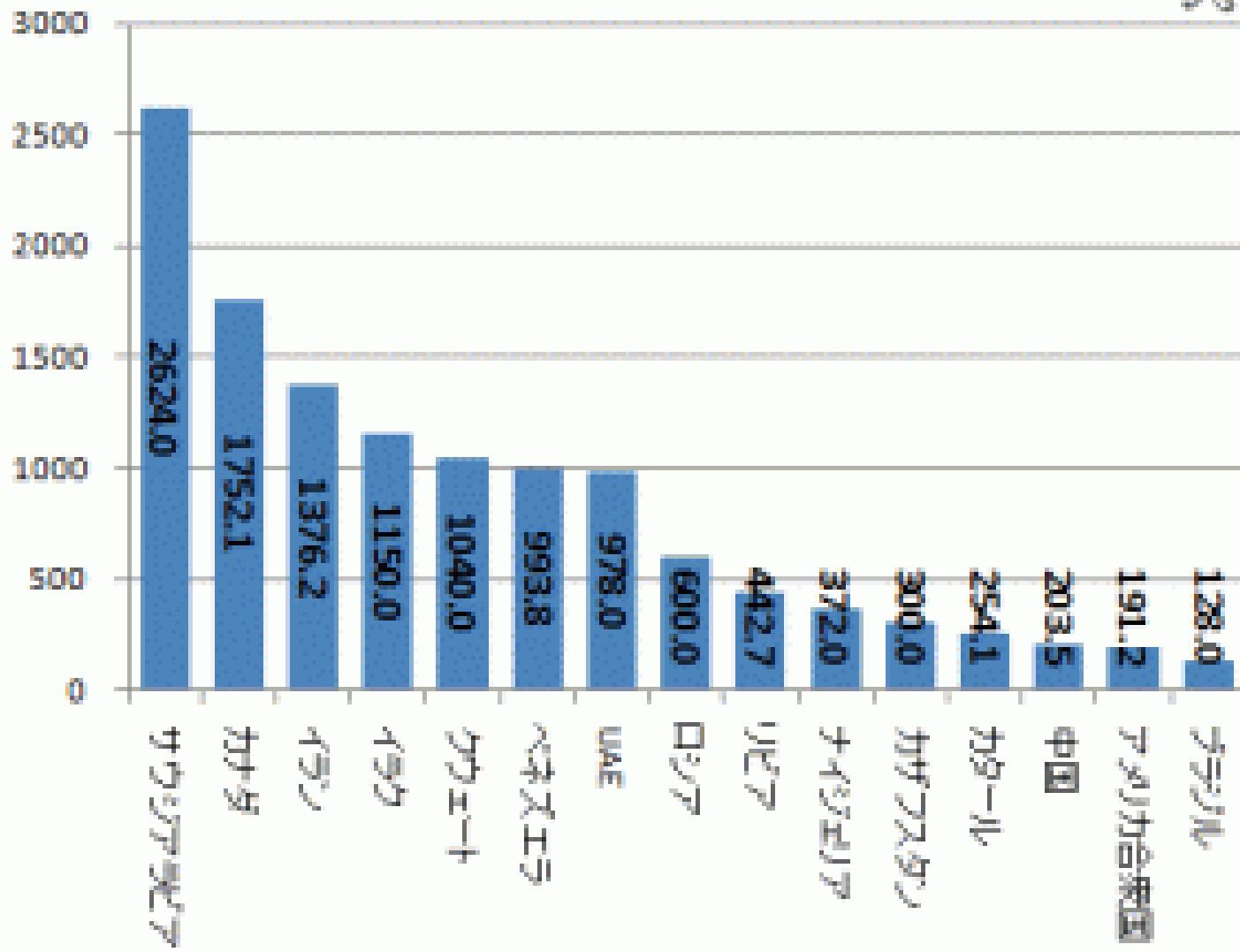
原油

- WTI West Texas Intermediate

映画「ジャイアンツ」（ジェームスディーンが石油を掘り当て）
(ベネディクト家： ロックハドソン、 エリザベスティラー)

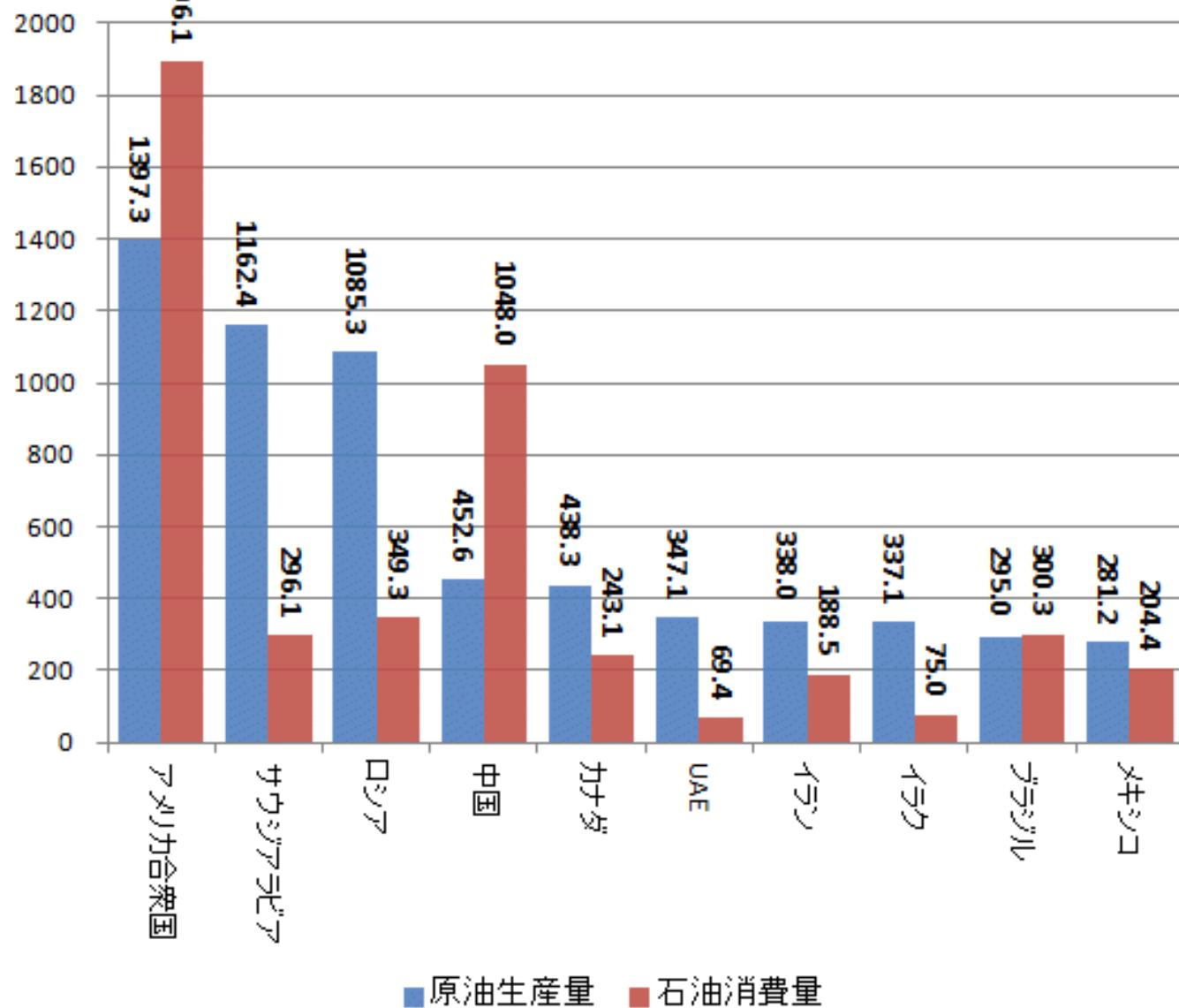
- ドバイ原油
- 北海ブレント

石油の確認埋蔵量(億バレル)



1日あたりの原油生産量と石油消費量

(生産量は2014年、消費量は2013年、万バレル/日)



産油国の意識、原油の多様性

- ・ 戦後、石油メジャーから**産油国**に利権が移る。
(地下資源はその国に属するという「資源ナショナリズム」が台頭) ⇒ 激しい対立
- ・ 政府が出資する投資ファンド**Sovereign Wealth Fund**が富を蓄え、世界経済に大きな影響力
- ・ 消費国に対して「原油を買ってもらっている」ではなく、「**原油を売ってあげている**」という意識が強くあります。
- ・ 原油はパラфин系、ナフテン系、硫黄の多寡、比重基準等多様

原油を取りまく環境(推測?)

- 需要の減少
 - 中国をはじめとする新興国経済の減速(特にチャイナリスク)
 - 世界経済の減速
- 供給の増大(減産が出来ない)
 - シェールオイルの増大
 - iranの復帰
- 核協議に関する最終合意が成立し、イランに対する経済制裁解除。
 - サウジがOPECにおける話し合い、減産調整を放棄
 - 増産継続。およびイランとの国交断絶。

プロの推測：ウクライナ問題があり対ロシア制裁の一環？
シェールオイルの耐久力を見極める為？

2016年年初に発生した経済ニュースの嵐

- アメリカの金利上げ 連邦公開市場委員会(FOMC)
(2015/12/21)
- 新興国経済の減速(特に中国急原則⇒上海株価急落)
- 原油価格低下とサウジとイランの国交断絶
- 「逆オイルショック」中国株安=中国の実体経済悪化の象徴→原油需要減→産油国の財政悪化→売りやすい日米市場の株が売られる→産油国の売りに乘じたヘッジファンドの売り崩しで先物主導の乱高下
- (北朝鮮の核実験、ミサイル)
↓
- 欧州(ECB)総裁は3月の政策変更を示唆(1月21日)
- 日本銀行のマイナス金利政策(1月29日)

ETFとは

- 上場投資信託(Exchange Traded Fund)のこと。
- 特定の指数、例えば日経平均株価や東証株価指数(TOPIX)等の動きに連動する運用成果をめざし、東京証券取引所などの金融商品取引所に上場している投資信託です。

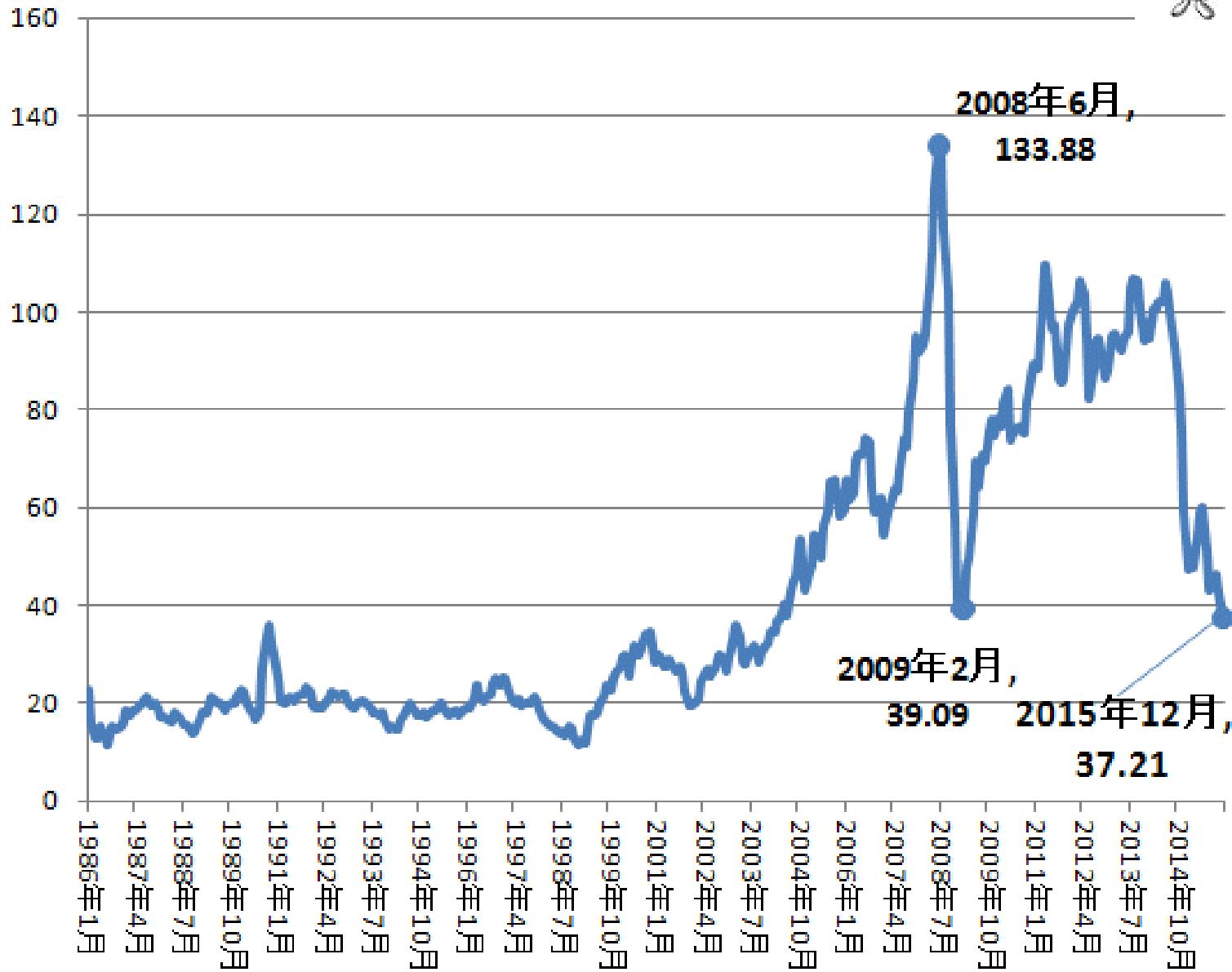
ETF 1671 とは

- WTI原油価格連動型上場投信です。
- 即ちニューヨーク商業取引所における「WTI 原油先物」の直近限月(げんげつ)の清算値を円換算で表示した価格で対象指標の変動率に連動する投資成果を目指す追加型株式投資信託です。
- 分配金を目的とする投資ではなく、原油価格の値幅取りを狙う投資に向いています。

価格低下に伴う市場の大混乱

- サウジアラビアの立場と国体懸念が増した?
国家収入の大半は原油。
サウジアラビアの国名:
「サウジ=サウード家」の「アラビア」
1932年建国:初代国王はイブン・サウード
以後、現国王まで全て子供(第二世代)が王位継承。
お金のばら撒きによる王政維持。
- 国交断絶により、スンニ派、シーア派の反目による調整できない状態が長期化するとプロは推測?
- 多くの推測が重なり、100ドルから27ドル台へ
- 原油価格の下落で100兆円/年の富が産油国から移っている。

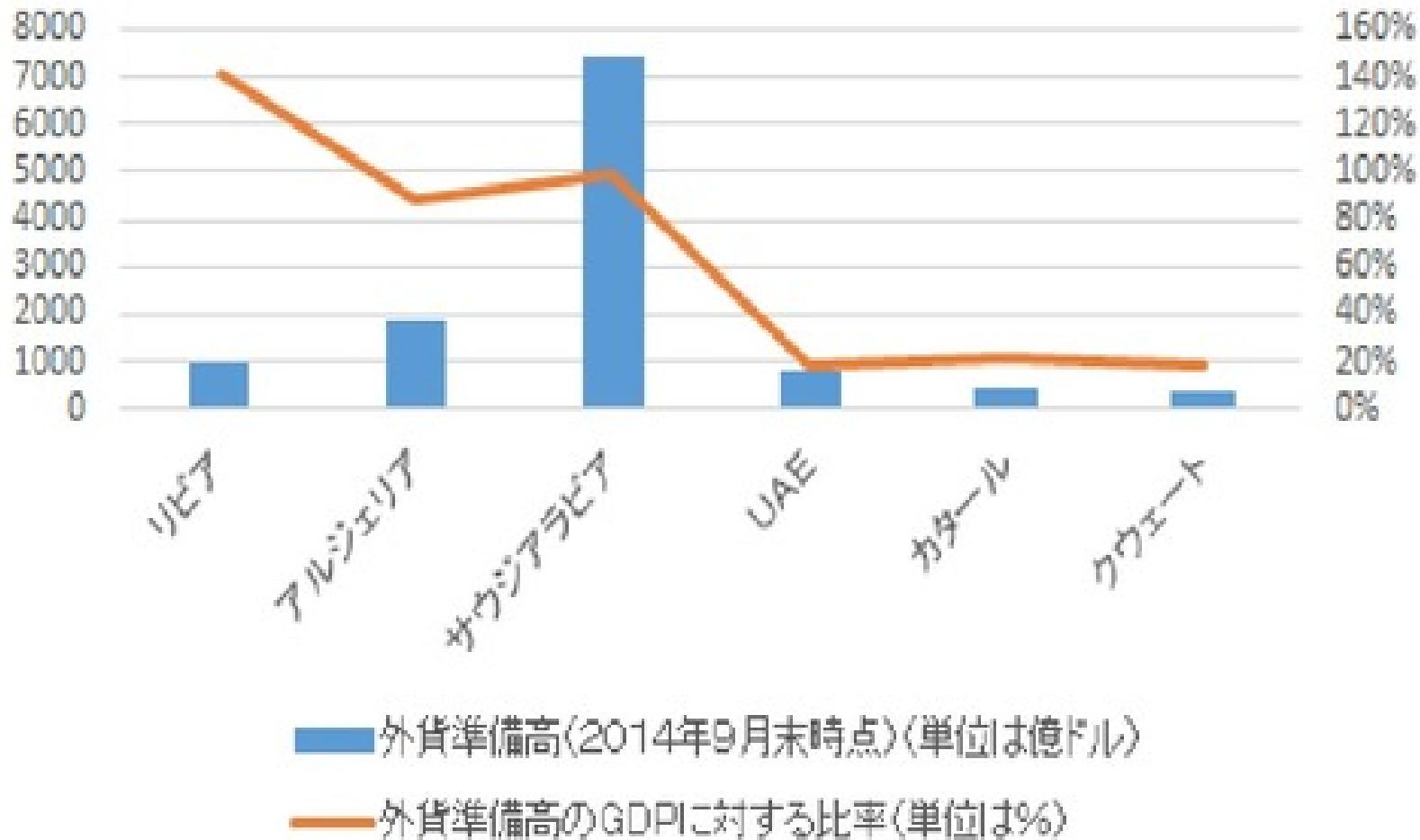
WTI価格(1バレルあたり、ドル、1986年1月～、月次)



Lines in the Sand: Shiites as % of Muslim Population



外貨準備高



主なOPEC加盟国の財政収支均等原油価格 (データ元:IMF)

(単位はドル)



産油国、協調へ一歩(16.02.17)

主な産油国の立ち位置

生産量は日量、2014年、
BP統計

シェールオイル
の生産で競う

米国
生産量 1160万バレル

OPEC加盟国

イラン
360万バレル

制裁解除で
増産決定

イラク
330万バレル

産油国の思惑

シェア維持したい!

協調減産の協議難航

供給過剰で価格下落

各国の財政が急速に悪化

16日
産油量据え置きで合意

ロシア
1080万バレル

サウジアラビア
1150万バレル

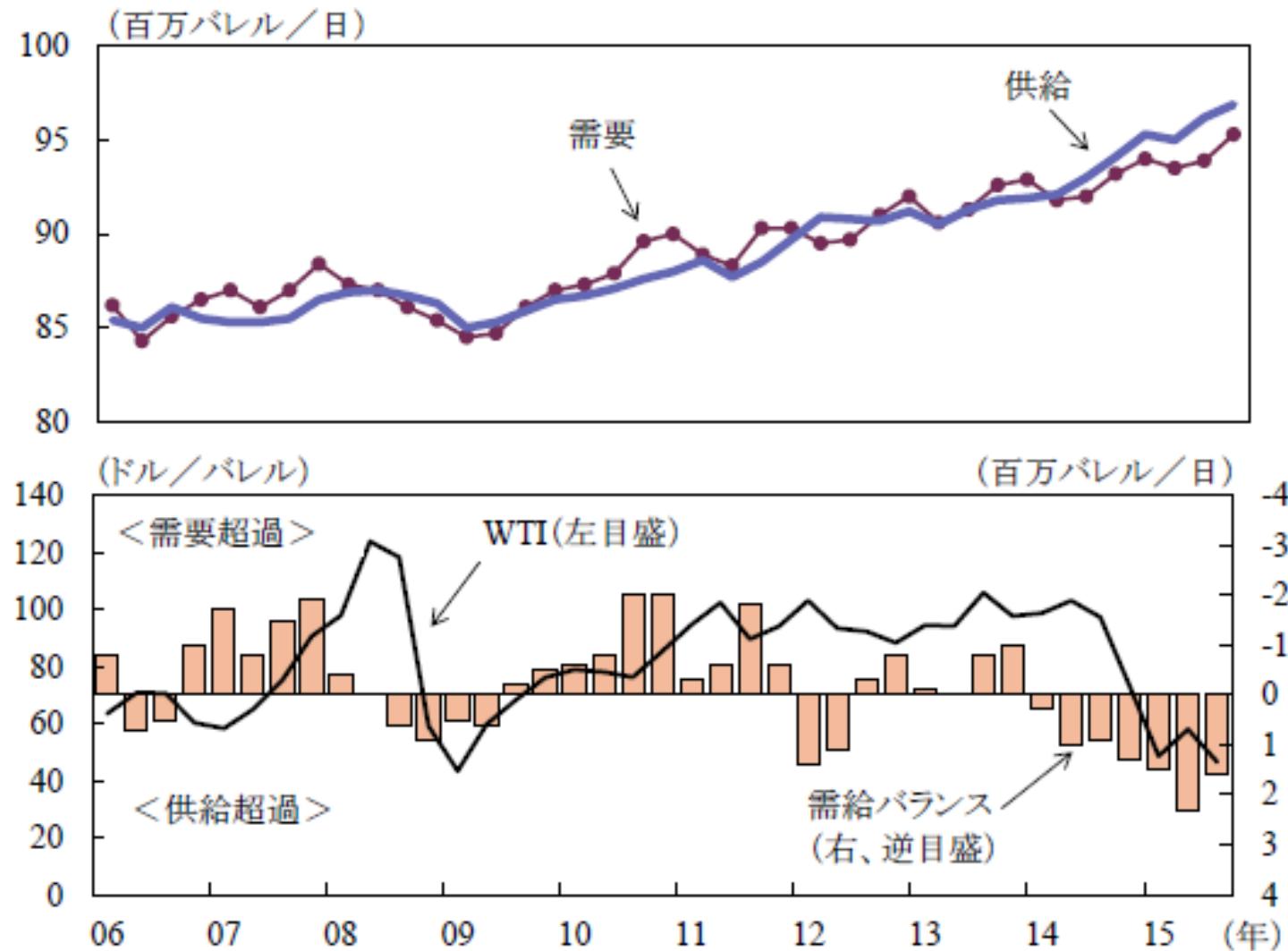
ベネズエラ
270万バレル

カタール
200万バレル

X
断交

17日
協議

第5図：世界の原油需要と供給の推移



(資料)IEA資料、Bloombergより三菱東京UFJ銀行経済調査室作成

原油価格の今後の見込み諸説

(2016.2.15現在)

プロの解釈にも諸説あり(極端な説を列挙)

- (1) 10ドルまで下落する。
- (2) 現在の30ドルが長く続く
- (3) サウジ王家内の権力争いでサウジが不安定化し価格は300ドルまで上がる。